

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		鳥取県立中部療育園				公表日	令和8年3月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	適切である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	子どもの出席人数によっては、職員を調整している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	0	子どもの成長、認知特性に応じて対応を変えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	始まる前の掃除、終了後に消毒をして環境を整えている。子ども達の活動に合わせて環境を変えて対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	日々保護者に意向を聞いている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	日々の振り返りを活かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	1		今年度は第三者評価の受審はない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	保護者勉強会にスタッフも入り自己研鑽を進めている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	1	中部療育園のホームページ上に、支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	標準化された検査に依存しないよう、多角的にみている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	毎回話し合いが行われている。	保育士を中心としながらも、活動プログラムの立案は、各職種の職員が主体的となってチームとして取り組めるようになっていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	話し合いの中で、現在の子どもに合わせたプログラムを検討している。利用児童によっては、目的をもってプログラムを固定化する場合もある。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		参加人数の関係で、集団活動が出来ない日がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1	必ず振り返りを行い、さらに支援参加者だけでなく園関係者全体で文章として共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	徹底されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	相談支援への情報提供。行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	2	当園は、月1回1時間の活動であり、自立支援と日常生活の充実のための活動や創作活動を行うための身体機能や認知機能獲得や汎化のためのサービスを主としている。	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」のうち、「地域交流の機会の提供」は在籍校との交流となっている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0	子どもに合わせた工夫がされている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1		教育との連携ができていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	3	保護者から学校での情報の聞き取りは行っているが、学校との連絡調整は行っていない。	当園では放課後の預かりサービスでは無く、機能獲得ならびに汎化のための親子通所利用のため、利用のための学校との情報共有は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	2		就学前に利用していた園との情報共有はしていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	4	基本的には保護者に対して、求められた内容に答えている。	当園の放課後等デイサービス利用児には、まだ卒業生がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	10		当園のサービスが、月1回1時間の機能獲得ならびに汎化に向けたものであり、地域交流は行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0	放課後等デイサービスの時間を利用して、テーマを決めて複数回研修を実施した。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	放課後等デイサービスの時間の最初に、必ず話を聞く時間を持っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	3	保護者会を実施した。	きょうだい同士で交流する機会はコロナ後、希望がなく実施していない。希望があれば計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	3	児童数が少ないためHP等を活用する必要もなく、個別に伝達している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	1		十分とは言えない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	4	地域住民も参加可能な地域療育セミナーを開催し、当園の事業の一端を紹介している。	行事に地域住民を招待することはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1	職員には会議等で周知されている。家族には入口付近にマニュアル等を配置し周知を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3	食事提供はしていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1	家族への周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	放課後等デイサービスの中で、現在までヒヤリハットが起こっていないが、別事業でヒヤリハットが起こった際は事業所内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	定期的に研修を開催し、適切な対応をしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	0	今のところ、事例はない。		